

化学反応における顕著な功績を表彰する「鈴木章賞」 2023 年受賞者を発表

【賞の概要】

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点（WPI-ICReDD/ダブリューピーアイ アイクレッド）は、東ソー株式会社からの協賛のもと、本学初のノーベル化学賞受賞者である鈴木 章ユニバーシティプロフェッサー・名誉教授の名を冠した「鈴木章賞」を 2021 年に創設し、同年初代受賞者を発表しました。

「鈴木章賞」は、化学反応開発における顕著な功績を表彰する制度として、実験化学分野の研究者へ授与される「アキラ・スズキ・アワード」と、計算（理論）化学及び情報科学分野の研究者へ授与される「アイクレッド・アワード」の二つの部門から成っています。第 3 回目にあたる 2023 年は、次の 2 名を受賞者として、発表する予定です。

アキラ・スズキ・アワード エリック・M・カレイラ教授（スイス連邦工科大学（ETH）チューリッヒ校）

アイクレッド・アワード フランク・ネーゼ教授（ドイツ マックス・プランク石炭研究所）

公式の受賞日は鈴木名誉教授の誕生日である 9 月 12 日とし、本年の授賞式及び受賞講演会は ICReDD が毎年開催する国際シンポジウムと合わせて 2023 年 9 月 10 日（日）午前 9 時から、北海道大学札幌キャンパス内、フロンティア応用科学研究棟「鈴木章ホール」にて開催予定です。

【受賞者情報】

(1) 2023 年 アキラ・スズキ・アワード受賞者

【氏 名】 エリック・M・カレイラ教授（Prof. Erick M. Carreira）

【所 属】 スイス連邦工科大学（ETH）チューリッヒ校

【生年月日】 1963 年 5 月 30 日

【学 歴】 1990 年 ハーバード大学 博士号取得

【職 歴】 1990 年 カリフォルニア工科大学 博士研究員

1992 年 同大学 助教

1996 年 同大学 准教授

1997 年 同大学 教授

1998 年 ETH チューリッヒ校 教授

【受 賞 等】 1993 年 ベックマン若手研究者賞

1996 年 米国ファイ・ラムダ・ウプシロン名誉化学協会 フレゼニウス賞

1997 年 米国化学会（ACS）純粋化学賞

2002 年 化学出版社 Thieme 国際純粋-応用化学賞

2021 年 有機合成化学協会高砂香料国際賞「野依賞」

- 【受賞理由】** イリジウム触媒によるエナンチオ選択的なアリル化や不斉触媒反応を活用した天然物合成などで世界をリードする
- 【受賞者コメント】** 「素晴らしい知らせを耳にして大変嬉しく、このような光栄に預かることができ感謝いたします。授賞式と国際シンポジウムへの参加を楽しみにしています。」
- 【研究概要】** 全合成、特に複雑な天然物の不斉（エナンチオ選択的）合成を中心に研究を行い、また、これらの方法を触媒の開発や医薬化学に応用することにも取り組んでいる。これまでに 350 以上の論文と 36 の特許を取得。自身の研究室では 140 名の学部生、110 名の大学院生、81 名の博士研究員を指導。

(2) 2023 年 アイクレッド・アワード受賞者

- 【氏 名】** フランク・ネーゼ教授 (Prof. Frank Neese)
- 【所 属】** マックス・プランク石炭研究所
- 【生年月日】** 1967 年 12 月 13 日
- 【学 歴】** 1997 年 コンスタンツ大学 博士号取得
2001 年 コンスタンツ大学 Habilitation (大学教授資格) 取得
- 【職 歴】** 1997 年 スタンフォード大学 博士研究員
2001 年 マックス・プランク生物無機化学研究所
2006 年 ボン大学 教授、理論化学科長
2011 年 マックス・プランク化学エネルギー変換研究所 所長
2018 年 マックス・プランク石炭研究所 (分子理論・分光学) 所長
- 【受賞等】** 2005 年 ドイツ理論化学協会 ヘルマン賞
2008 年 クラング・ヴィルヘルミー ウェーバーバンク賞
2010 年 ドイツ研究振興協会 ゴットフリート・ヴィルヘルム・ライプニッツ賞
- 【受賞理由】** 遷移金属による低分子の活性化に関する基礎科学と、量子化学的手法の開発と応用
量子化学プログラム ORCA の開発者
- 【受賞者コメント】** 「このような名誉ある賞に選んでいただき、大変光栄に思います。また、私たちグループの研究活動に対する信頼と評価に心から感謝申し上げます。この機会に訪日できることを光栄に思います。」
- 【研究概要】** 化学、生化学、物理学の専門誌に 700 以上の論文を発表。主な研究分野は、磁気分光学の理論（電子常磁性共鳴、磁気円二色性）とその実験的・理論的応用、局所対自然軌道相関理論、分光指向の配置相互作用、遷移金属錯体や金属酵素の電子的・幾何学的構造と反応性。量子化学プログラム ORCA の開発者、かつマックス・プランク研究所のスピンオフ企業である FAccTs の共同出資者として ORCA の商業的流通にも貢献。



エリック・M・カレイラ教授（左）と、フランク・ネーゼ教授（右）

お問い合わせ先

北海道大学創成研究機構化学反応創成研究拠点 研究支援部門長 山本靖典（やまもとやすのり）
T E L 011-706-9646 F A X 011-706-9652 メール public_relations@icredd.hokudai.ac.jp
U R L <https://www.icredd.hokudai.ac.jp/ja/akira-suzuki-awards>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）
T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

【WPI-ICReDD について】

ICReDD (Institute for Chemical Reaction Design and Discovery、アイクレッド) は、文部科学省国際研究拠点形成促進事業費補助金「世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)」に採択され、2018 年 10 月に本学に設置されました。WPI の目的は、高度に国際化された研究環境と世界トップレベルの研究水準の研究を行う「目に見える研究拠点」の形成であり、ICReDD は国内にある 17 の研究拠点の一つです。

ICReDD では、拠点長の下、計算科学、情報科学、実験科学の三つの学問分野を融合させることにより、人類が未来を生き抜く上で必要不可欠な「化学反応」を合理的に設計し制御を行います。さらに化学反応の合理的かつ効率的な開発を可能とする学問、「化学反応創成学」という新たな学問分野を確立し、新しい化学反応や材料の創出を目指しています。

